

JENESYS2025

インドネシア、シンガポール、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、マレーシア 合同オンライン同窓会の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

過去に JENESYS 事業に参加した 6 か国（インドネシア、シンガポール、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、マレーシア）を対象にオンライン同窓会を実施しました。プログラムでは、アジアを中心に海外展開する日本の製菓企業による講義、日本のビジネスマナーを学ぶ文化体験に加え、現在日本で就労している同窓生代表による経験談の共有を通じて、日本についての知識をアップデートし、親日・知日度を向上させ、同窓生ネットワークの強化と同窓生活動の活性化を図りました。

【参加者】JENESYS ASEAN インドネシア、シンガポール、東ティモール、フィリピン、マレーシアの同窓生（2024 年度までの参加者、高校生～社会人）合計 36 名

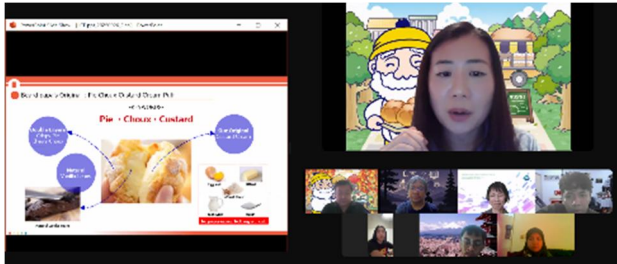
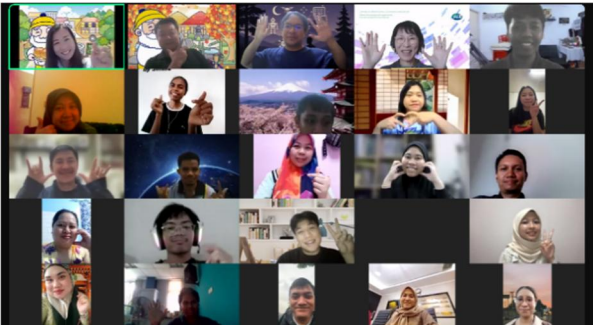
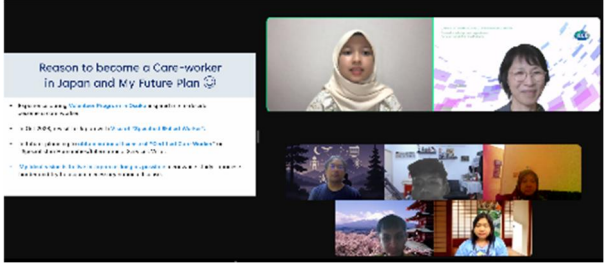
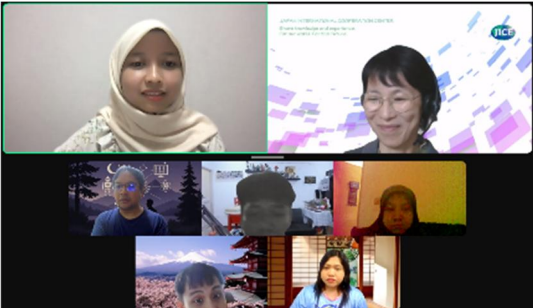
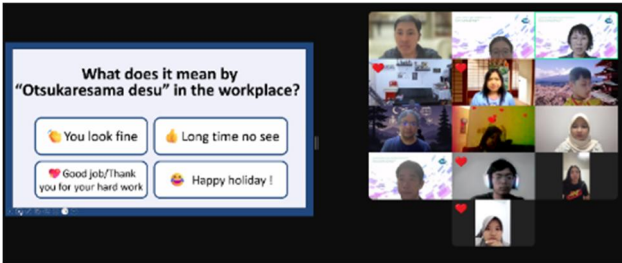
（内訳）インドネシア 14 名、シンガポール 3 名、フィリピン 7 名、マレーシア 7 名、東ティモール 5 名

【日程】

■ オンライン同窓会：2025 年 9 月 26 日（金曜日）

1. 開会
2. 【挨拶】外務省アジア大洋州局 南部アジア部 南東アジア第二課 沼 直樹 外務事務官
3. 【対象国に展開している日本組織の活動紹介】
講義：「ビードパパのできたて・作りたてシュークリーム」
講師：Muginoho Global Pte. Ltd. GM/QSC 担当部長 津田 浩史 氏
Muginoho Global Pte. Ltd. QSC 部 シニアトレーナー ヘーゼル・アン 氏
4. 質疑応答
5. 記念撮影
6. 【同窓生発表】「私の経験：日本で働くということ」
登壇者：ナダ・アフィファ・ラマーダンティー 氏（JENESYS ASEAN 2022 参加者）
7. 【参加者間交流】過去に参加した JENESYS プログラムに関する体験談の共有
【文化体験】日本のビジネスマナーの学習
8. 閉会

2. 記録写真

	
【挨拶】外務省アジア大洋州局 南部アジア部 南東アジア第二課 沼 直樹 外務事務官	【対象国に展開している日本組織の活動紹介】 「ビードパパのできたて・作りたてシュークリーム」
	
【記念撮影】	【同窓生発表】「私の経験：日本で働くということ」
	
【参加者間交流】過去に参加した JENESYS プログラムに関する体験談の共有	【日本文化】日本のビジネスマナーの学習

3. 参加者から寄せられた質問・関心事項（抜粋）

◆ 【講義】「ビードパパのできたて・作りたてシュークリーム」について

- ・ 東ティモールやラオスなど、新しい国でビードパパを展開するにあたり、最も大きな課題は何でしたか。また、それをどのように乗り越えましたか。
- ・ 特に東南アジアでの活動を通じて、食が文化の架け橋になると感じることはありますか。
- ・ フランチャイズ運営やビジネスの海外展開に関心がある人向けにアドバイスをください。
- ・ イスラム教徒向けに、ハラール対応はされていますか。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行中、東ティモールで直面した課題にはどのようなものがありましたか。
- ・ （外国人講師に対して）どのような経緯で日本企業で働くことになりましたか。

◆ 【同窓生発表】私の経験：「日本で働くということ」について

- ・ この仕事に就く際、どの種類の在留資格（ビザ）を申請しましたか？「特定技能」や「技術・人文知識・国際業務」等、またはその他の種類でしょうか？
- ・ 就職時の日本語能力試験（JLPT）のレベルはどのくらいでしたか。
- ・ あなたが日本語の勉強や日本での就労に取り組む上で、原動力となっているものは何ですか。

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ インドネシア 社会人

講義を振り返りますと、ビードパパの海外進出の話題は非常に素晴らしく刺激的な内容でした。特に印象的だったのは、「いつでも楽しく、明るく、そしてエネルギーに」という企業理念と、スイーツから生まれる笑顔を広げるというミッションには胸を打たれました。「日本の“美味しい！”を世界へ」というビジョンは、素晴らしいものです。

また、ナダさんの個人的な歩みは、とても感動的で、特に日本で働くことを志す同窓生にとって大きな励みになりました。『HUNTER×HUNTER』などのアニメから始まった日本への関心が、やがて日本語や文化への真摯な情熱へと育っていったという話は、胸が熱くなりました。ナダさんの経験は、まさに JENESYS プログラムが転機となり得る好事例だったと思います。JENESYS プログラムに参加したことで、より勤勉に日本語学習に取り組んだり日本でのキャリア形成を目指したりすることへの意欲が増したことと思います。彼女は私たち同窓生にとってのロールモデルであり、励みになりました。このイベントは、日本のビジネス文化への理解を深めただけでなく、新たな熱意を持って自らの将来の進路について考えるきっかけになりました。

◆ マレーシア 社会人

本日のセッションの中で特に印象的だったのは、ビードパパの運営に関する講演でした。ビードパパの事業展開、東南アジア諸国や台湾への海外進出における支店管理、そして日本の資本や道徳に対する価値観につながる「おもてなし」文化に焦点を当てたお話は非常に興味深かったです。ナダさんのお話では、彼女が介護士として働きながら、日本語の上達を目指していることが印象的で、心を引きつけられました。

◆ 東ティモール 大学院生

残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大後、東ティモールにおける事業再開は実現していませんが、講義の中で共有いただいた経験談、特にビードパパの事業投資についてのお話に非常に感銘を受けました。東ティモールの若者としては、今後、東ティモールでも、他のアジア諸国のように販売事業が拡大していくことを期待しています。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 講師

参加者が非常に積極的に関わってくださったことは、とても励みになりました。参加者から寄せられたさまざまな質問やコメントは、ビードパパに対する好奇心だけでなく、日本文化やそれがビジネスとどう結びついているかという真剣な関心を反映していたと思います。

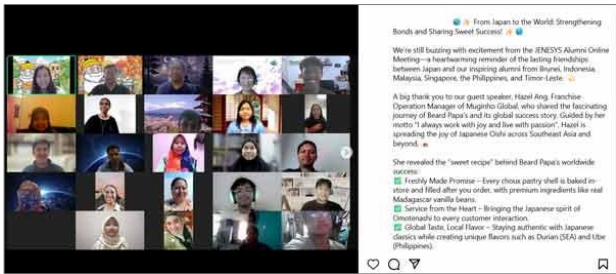
特に、東ティモール、マレーシア、インドネシアの参加者からの前向きな反応は、私たちのブランド哲学や歴史が国境を越えて人々の心に響く可能性を示唆してくれました。

参加者の声を通じて、「日本の“美味しい！”を世界へ届ける」という私たちの取り組みが、意味のあるものとして受け入れられていることを実感できました。

◆ 同窓生（登壇者）

参加者達が日本語を学んでいる理由は、日本で生活し働きたいという共通の目標に基づいています。私自身の経験や体験談を共有することで、間接的にモチベーションを高められるのではないかと感じています。今回の交流を通じて、多様なバックグラウンドを持つ人と接する際は、柔軟な姿勢や多様な価値観を受け入れることが大切であると、改めて実感しました。これまでは日本語力の向上に重点を置いていましたが、交流をきっかけに、言語だけでなく文化的背景や考え方の違いを理解することが、真のコミュニケーションにつながると気づきました。今後は、自分とは異なる国籍や文化背景を持つ人に対する理解をさらに深め、国際的な視野をもって積極的に活動や学習に取り組んでいきたいと考えています。

6. 参加者の対外発信（抜粋）

	
2025 年 9 月 26 日（Facebook） フィリピン 社会人 【JENESYS2025 オンライン同窓生会】 インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピン、東ティモールの同窓生が集う JENESYS オンライン同窓会に参加しました。 今回のハイライトの一つは、日本発のスイーツブランド、ビードパパによるプレゼンテーションです。同社は、シュークリームで知られており、ASEAN 地域での事業展開や、地域社会にもたらす価値についてご紹介いただきました。 「できたてへのこだわり」「おもてなしの心」「地域に合わせた商品展開」など、日本らしい品質とサービスが、海外でも高く評価されていることが印象的でした。 また、インドネシア出身の JENESYS 同窓生からは、日本での生活や就労に関しての実体験が共有され、多くの参加者が感銘を受けました。	2025 年 9 月 28 日（Instagram） インドネシア 社会人 【日本から世界へ：絆を深め、“美味しい成功”を分かち合う】 JENESYS 同窓生オンライン同窓会に参加し、インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピン、東ティモールの同窓生と再びつながることができました。 この交流は、日本と東南アジアの若者たちの間に築かれた友情と信頼の絆が、今もしっかりと根付いていることを実感させてくれるものでした。 今回のゲストスピーカーは、Muginoho Global Pte. Ltd のシニアトレーナーであるヘーゼル・アンさん。ビードパパのグローバルな成功の軌跡を、情熱あふれる言葉でご紹介いただきました。 彼女のモットー「喜びをもって働き、情熱をもって生きる」のもと、東南アジアをはじめ、世界へと日本の“美味しい”を広げています。

参加者同士のディスカッションやネットワーキング、体験談の共有、日本のビジネスマナーに関する文化体験など、楽しく有意義な交流が行われ、非常に刺激的な時間となりました。	また、JENESYS 同窓生のナダさんからは、日本で介護士として活躍するまでの素晴らしいストーリーをご共有いただきました。JENESYS が開く可能性の扉を感じさせてくれる瞬間でした。 活発な議論と笑顔あふれる交流を通じて、JENESYS のスピリットが今も力強く息づいていることを実感しました。
---	--

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）